

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

<b>【研究課題名】</b>	麻酔科管理下手術症例における非観血的血圧測定ギャップの発生実態とアラート導入の効果に関する後方視的研究		
1. 研究の目的と方法	手術中の血圧測定は、安全な麻酔管理を行う上で極めて重要ですが、実臨床では機器トラブルや操作忘れにより血圧未測定（測定ギャップ）が一定数発生しています。本研究では、電子麻酔記録システムを用いて、手術中における非観血的血圧（NIBP）測定のギャップ発生頻度・継続時間・回数・発生タイミングを定量的に解析し、2021年2月に当院に導入された電子麻酔チャートの自動アラート機能の効果を検証します。これにより、ギャップ発生の抑制効果を評価し、術中モニタリングの質向上および患者安全性向上に資する知見を得ることを目的としています。研究を実施するにあたっては、麻酔記録・電子カルテから当該研究に必要な情報を収集し、評価・分析を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2028年 12月 31日まで		
3. 対象となる方等	2011年8月1日～ 2025年6月30日に東京慈恵会医科大学附属病院にて麻酔科管理のもとに手術あるいは検査処置を受けた方		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、身長、体重、ASA-PS、手術日時、麻酔時間、手術時間、体位、診療科、定時・緊急の区分、麻酔法、麻酔科医の担当状況、麻酔記録チャートのデータ、手術に関連する診療録	
	(4) 情報の取得の方法	麻酔記録データベース、診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座
		氏名	池田浩平
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025年10月以降
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座 研究責任者：准教授 池田 浩平（いけだ こうへい） 電話番号：03-3433-1111（内線 4040） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。